



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 33 No. 2850

2023-2024年度国際ロータリーのテーマ

2023-2024年度R I 会長 ゴードンR.マッキナリー

2023-2024年度R I 第2500地区テーマ

ガバナー 鶴見誠一郎

今こそ変わる勇気を！さあ、一歩前へ

2023-2024年度士別ロータリースローガン

【勇気ある行動で友情と奉仕の実践へ】

～ Let's begin ～



世界に希望を生み出そう

- 会 長 / 菊地 昭通
- 副会長 / 山下 卓己
- 幹 事 / 福島 和秀
- 例会場 / 士別グランドホテル
- 例会日 / 毎週月曜日 12:10~13:00

2500地区ホームページ <http://rid2500.jp/>

士別RC <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

RIホームページ <https://www.rotary.org>

第2937回例会 2024年 4月 22日

今日のプログラム

夜間例会

前回(4月8日)の記録 普通例会

司 会 志村孝幸 会場監督
 齊 唱 奉仕の理想
 本日の出席 会員 43人中 出席者 31人 出席率 72.09%
 本日の欠席 大江智宣・大野裕一郎・川東久聖・國森和麿・田中道也・奈良康弘・福島和秀
 藤吉敏博・前田孝幸・山本政史・深尾幸夫・生田真至

ニコニコBOX

山崎貴弘会員(ご子息就職祝い)・山本政史会員(誕生祝い)
 織戸俊二会員・細川博司会員・中山義隆会員・(孫の入学祝い)
 谷村一文会員(田宮捕手パリーグ首位打者記念)
 南條忠勝会員(歓迎会御礼)
 近井孝義会員(愛妻の誕生祝・孫の入園祝)
 菊地 仁会員(長女進学祝い)

累計 425.000 円

例会予定

■ 4月例会日[環境月間]

- 4月 1日(月) 普通例会・理事会
- 4月 8日(月) 普通例会
- 4月 15日(月) 休会
- 4月 22日(月) 夜間例会
- 4月 29日(月) 休会(昭和の日)

■ 5月例会日[青少年奉仕月間]

- 5月 6日(月) 普休会(こどもの日振替)
- 5月 13日(月) 普通例会・理事会
- 5月 20日(月) 普通例会
- 5月 27日(月) 夜間例会

■会務報告……………菊地 昭通会長

皆さんこんにちは、4月に入りよいよ桜前線が東北地方まで北上してきました。桜の開花が始まると花見を企画したり、卒業や入学など人生の節目を感じたりする季節であります。しかし北海道では、ようやく長い冬が終わり春の陽ざしが日に日に強く感じられ急速に雪解けが始まり出した時期であり、あと半月で桜前線が北海道に上陸し始めます。古来より桜は穀物の神が宿るものと大切にされてきて、日本を象徴する馴染みの深い植物です。しかし、意外と桜の種類を知らない方も多いのではないのでしょうか。

一般的にお花見で見る桜は、ほとんどがソメイヨシノです。従って、「桜前線」や「開花宣言」などの指標となる桜は、ソメイヨシノを指すことが多いです。

日本では固有種、交配種合わせて600種類もの桜が確認されています。桜の分類は複雑ですが、一般的には山野に自生する野生の「山桜」、園芸用に品種改良された「里桜」と「一重の里桜」に分けることができます。

桜の代表的な種類として、ソメイヨシノ(染井吉野)、カワヅザクラ(河津桜)、ヤエザクラ(八重桜)、シダレザクラ(枝垂れ桜)、エドヒガンザクラ(江戸彼岸桜)、オオシマザクラ(大島桜)、カンヒザクラ(寒緋桜)、セイヨウミザクラ(西洋実桜)、ヨウコウザクラ(陽光桜)、シュゼンジカンザクラ(修善寺寒桜)など10種類ほどで、そこから自然交配して生まれた変種は100種類以上、さらに現在では原種を交配して作り出された改良品種も数多くあり、その数は600種類を超えるとも言われていますが、現状は全国の桜の約80%がソメイヨシノと言われています。

毎年多くの方が開花を心待ちにしている桜の花。春の花として親しまれている桜ですが、実は品種ごとに開花時期が少しずつ異なることと、花びらの色や形にも大きな違いがあるのです。開花時期でみると、まだ寒さが残る2月頃から咲き始めるのがカワヅザクラ。その後を追うように3月中頃からソメイヨシノやシダレザクラなど多くの品種が開花し始め、遅咲きのヤエザクラは5月頃までその美しさを楽しむことができます。

ここでいくつかの桜を紹介します。最初にソメイヨシノ(染井吉野)は、日本全国に分布し、国内に植えられた桜の8割を占めています。江戸時代末期から明治時代初期にかけて現在の東京都豊島区駒込付近にあった染井村という土地で生まれた品種です。一重咲きで、淡いピンク色の花を咲かせるのが特徴で、夜には花び

らが暗い空に浮かび上がるように咲き、春の夜空を可憐にいろどります。ソメイヨシノは桜の中でも特に繊細な品種で、風雨で花びらが散りやすく、春の暖かさを待ち焦がれてやっと咲いたと思ったら雨や風であっという間に散ってしまう儚さも人気の理由なのかもしれません。

次にカワヅザクラですが、他の品種に比べて比較的早い時期から花を目にすることができ、紫がかった濃いピンク色の花びらが可愛らしい早咲きの品種です。人の手を加えず、他の品種の種や花粉がつくことで生まれる自然交配種の一つであります。静岡県河津町で発見されたことからその名がつけられたと言われていています。寒い季節に咲き始めるため、長く時間をかけて開花から満開を迎えるのが特徴で、花期が長く2月から3月にかけての約1ヶ月間、美しく咲き誇るカワヅザクラの魅力を楽しむことができますが、中でも一番の見頃は満開前の6から8分咲きの頃だと言われてます。

ソメイヨシノと異なる特徴を持ち、風や雨にとっても強いのがカワヅザクラの魅力の一つでもあります。花の美しさを比較的長い期間楽しむことができるため、お花見に適した品種として親しまれています。

ヤエザクラとは、たくさんの花びらが重なっている桜の総称のことで、日本の桜を代表するソメイヨシノなどの品種は花びらが5枚ですが、それより多い6枚以上の花びらが重なり合って咲いている桜のことをヤエザクラと呼びます。もこもことしたボリュームな花姿が特徴で花びらの枚数は多いものでは100以上にもなり、丸くふんわりとした見た目から別名「ボタンザクラ(牡丹桜)」とも呼ばれています。

そして、シダレザクラとは、枝が細く柳のように大きく垂れ下がっている桜の総称のことで、花びらの色は薄い紅色から濃いピンク色までさまざまで、咲き方も一重咲きから八重咲きまであります。花びらの可憐な色合いと垂れ下がる美しさが京の風情に合うことから、京都の府の花にも指定されています。

最後に北海道の桜について紹介しますと、皆さんご存じでありますように、エゾヤマザクラが有名です。北海道と、本州の中部より北の地方に自生する桜で、正しくはオオヤマザクラ(大山桜)といえます。ヤマザクラよりも花や葉が大きいことから名付けられています。また、エゾヤマザクラの「エゾ(蝦夷)」とは北海道の古い呼び名で、その北海道で多く自生していることから、エゾヤマザクラと呼ばれるようになりました。

エゾヤマザクラは桜の中でも大きく育ち、7mから20m程度まで成長します。開花時期は4月下旬から5月にかけて開花します。花の色は薄ピンクから濃いピンク色で、花の中心部が特に濃い色をしています。葉は卵形でギザギザがあります。ソメイヨシノは白に近い淡いピンク色なので、並んで咲いていると濃淡の違いが楽しめます。実は、本州の「オオヤマザクラ」と比較しても、北海道のエゾヤマザクラはより濃い色で開花します。これは、より寒い方が色が濃くなる特徴があり、北海道でも函館と旭川では、より寒い旭川のエゾヤマザクラの方が色の濃い花が咲きます。エゾヤマザクラは黒く小さな実がなり、この実から新たに育てることが可能です。一方のソメイヨシノは赤い実がなりますが、中の種から育てることは出来ません。実は、ソメイヨシノは種が育たず、すべて接ぎ木によって数を増やしています。そのためエゾヤマザクラは種から育てられますが、ソメイヨシノはでは不可能なんです。ちなみに、エゾヤマザクラの寿命は、山桜に分類されるのでソメイヨシノよりも寿命が長く、約70年から90年と言われています。ソメイヨシノの寿命は、約60年から70年で比較的短く人工的に交配された品種類で接ぎ木なので短命であります。そして、北海道にしか見られない桜があります。チシマザクラ(千島桜)です。

道内でも道東や道北地域など寒さが厳しい地域でしか開花しません。別名はミネザクラ(タカネザクラ)と呼ばれ他にもエトロフ桜とか国後桜とも呼ばれています。花の色は、白から薄ピンクで香りがあり、咲き始めの頃は、淡いピンク色や紅色ですが満開時には白に変化していきます。また、交雑しやすいため、濃いピンク色もあります。葉には二重のギザギザがあり寒さに強く、日本で最も北部に自生している桜です。特徴の一つは、他の桜と比べると高さが非常に低く、大きいもので3mから5mほどで枝が横に広がります。開花時期はエゾヤマザクラより遅く、5月中旬から6月上旬頃です。昭和48年(1973年)には北海道記念保護樹林に指定されています。皆さんゴールドデンウィークの時期は、サクラの花を見ながら焼肉とビールで最高の花見を試みるのもいいですね。

■ 幹事報告..... 福島 和秀 幹事

1. 今月のロータリーレートは1ドル151円となっております。
2. 次週の4月15日は休会となっております次回の例会は4月22日の夜間例会となります。

■ 会員卓話..... 井口裕史 会員

1. 優良安全運転事業所「金賞」の受賞について

連続6回目の受賞となります。最高位のプラチナ賞1回、金賞3回、銀賞・銅賞各1回です。日本バス協会のセーフティーバス三ツ星の基準では、3年に1回、全運転士の運転記録証明書を取り、違反等があれば指導を行う、というものです。平成29年4月に信金から士別軌道に入りましたが、当時、ゴールド免許を持っている運転士が意外に少ないことに驚きました。半分位でしょうか。プロの運転士でありながら3年更新というのもありました。そこで、毎年、運転記録証明を取ることにしたんです。あなたたちはプロのバス運転士だよ、公私ともに会社は見ているよ、という感じですか。

この取組はそれなりの効果があったと思います。軽微な事故も減ったし、ゴールド免許の割合も8割まで改善されました。1年間無事故無違反を数年続けると金賞、1年間に1名の違反があれば銀とか銅賞。金賞を毎年続けると最高位のプラチナ賞、基準は分かりませんが、プラチナまで行くとそれまでの実績が一旦クリアになるそうです。

2. 日本バス協会、貸切バスセーフティーバス三ツ星

昨年12月、更新審査で三ツ星4年更新を獲りました。基本は2年更新ですが、国の基準以上の厳しい社内基準を多く取組むと優良のさらに上ということで、4年更新が与えられます。道内に約200社の貸切バス事業者がありますが、十数社しか4年更新はおりません。バス会社の最重要目標は、安心・安全です。規模は小さくとも安全レベルは、道内上位を目指しております。その取組みの中で、金賞や三ツ星獲得は大きな意義あると思っております。昨年からは、ゴールド免許更新の運転士には「上士別産ゆめぴりか10キロ」を記念に贈呈しております。もらった運転士は嬉しそうに「安全運転がんばります」と言います。

こんな感じで、がんばっております。

結婚記念日おめでとうございます！



(加藤会員・佐藤会員)